

2016 年度 入学 試験 問題

地 理 B

(試験時間 13:15～14:15 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 世界ならびに日本の水産業にかんする次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。
(25点)

水産業は、農業とともに、人々の食生活を支える基礎的な役割を果たし、とくに畜産業と並んで、動物性たんぱく質を供給する重要な産業である。しかし、日本の漁業生産量をみると、1984年の1,282万トンピークに最近では500万トン前後にまで大きく落ち込んでいる。これにはいくつかの要因が考えられるが、漁業の技術進歩と^(A)漁場の空間的な広がりを通して生産力が高まってきた反面、乱獲により漁業資源が減少してきたこともその1つである。資源管理の徹底、そして^(B)「とる漁業から育てる漁業へ」と転換することが以前にも増して喫緊の課題となっている。

かつて四大漁場とよばれた世界の主要漁場は、海岸から水深約200mまでの(1)や浅堆、暖流と寒流がぶつかり合う(2)に恵まれ、豊富な漁業資源を有していた。北西太平洋漁場は、日本近海の(3)半島沿岸から東シナ海にいたる海域にあり、太平洋側では暖流の〔ア〕と寒流の〔イ〕が接している。北東太平洋漁場は、アラスカから(4)の西岸にいたる漁場である。また、北東大西洋漁場は、北海を中心とする漁場で、アイスランドやスカンディナヴィア半島沿岸からフランスの(5)湾に広がっている。北西大西洋漁場は、(4)東部のニューファンドランド島近海からアメリカ東部の海域であり、暖流の〔ウ〕と寒流の〔エ〕が交わり、タラやニシン、サケ、カレイなどの漁場となっている。南東太平洋漁場は、(6)からチリ北部の沿岸に広がる海域であり、アンチョビー漁が盛んなことで知られる。

世界の水産物貿易は、水産物需要の世界的な増加に伴い、数量・金額の両面で増え続け、輸入貿易数量で見ると2011年に3,593万トンに達した。日本の水産物輸入量は、2001年に過去最高の382万トン記録を以て以降、国内消費の低下などによりおおむね減少傾向で推移し、2014年には254万トンとなった。とはいえ、依然として、日本が^(C)世界有数の輸入大国であることに変わりはない。

日本が、今後とも水産物を安定的に確保していく上で、国際的にみて多くの困難が横たわっている。マグロの乱獲を防止するための漁獲制限など、世界的に漁業資源の管理を強化する動きがみられる。他方で、^(D)エビの主要産地が集積する東南アジアで

発生している諸問題への配慮や対応も不可欠である。また、(7) の協定による捕鯨規制をめぐる捕鯨国と反捕鯨国との対立は、資源管理問題にとどまらず、文化的な対立の色彩を強め、解決の糸口を見出せない状況が続いている。

問1 文中の(1)～(7)に当てはまる適切な語句を解答欄に書きなさい。
(4)と(6)は国名を答えなさい。

問2 文中の〔ア〕～〔エ〕に当てはまる海流の名称を下記の選択肢の中から選び、その番号を解答欄に書きなさい。

(選択肢)

①リマン海流	②対馬海流	③黒潮	④親潮
⑤アラスカ海流	⑥ブラジル海流	⑦カナリア海流	
⑧メキシコ湾流	⑨ラブラドル海流		

問3 下線部(A)漁場の空間的な広がりを具体的に示す3つの漁業の種類の名を、海岸ないし漁業の拠点地から近い順に、解答欄(a)～(c)に書きなさい。

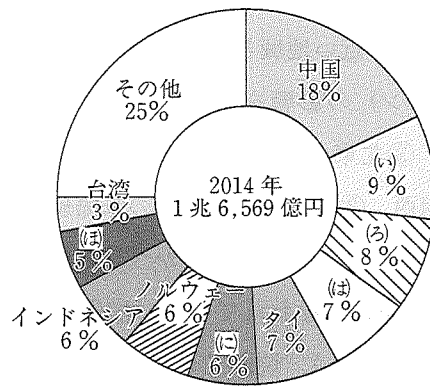
問4 下線部(B)「とる漁業から育てる漁業へ」の転換は、従来から、養殖業振興の重要性として指摘されてきた。この必要性をより一層、高めたのが国連海洋法条約によって根拠付けられた水域の設定である。その語句を漢字7文字で書きなさい。

問5 下線部(C)世界有数の輸入大国にかんして、下図の日本の主要な水産物輸入先国である(い)～(ほ)に当てはまる国を下記の選択肢の中から選び、その番号を解答欄に書きなさい。

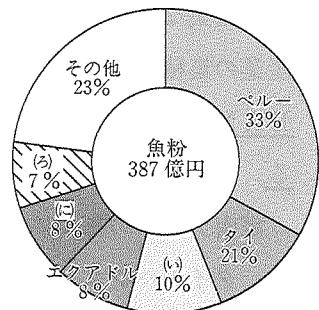
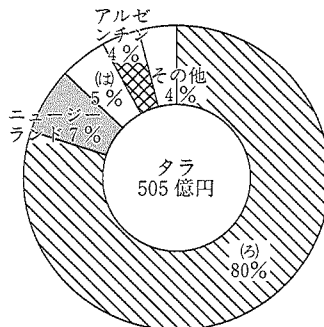
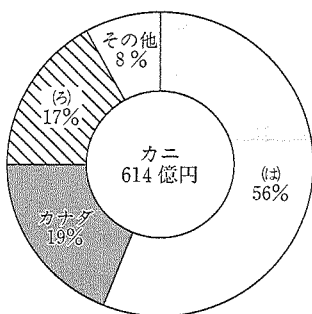
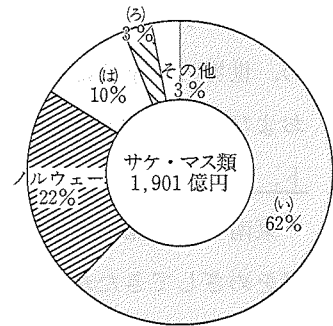
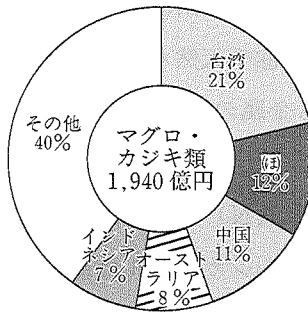
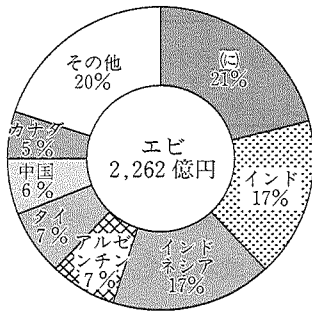
(選択肢)

①韓国	②ベトナム	③チリ	④ロシア	⑤アメリカ
-----	-------	-----	------	-------

図 日本の主な水産物輸入相手国の金額構成比



(参考)



出所：水産庁『水産白書』2015年

問6 下線部(D)にかんして、東南アジア諸国におけるエビ養殖では、具体的にどのような問題が生じているのかを50字以内で説明しなさい(句読点も字数に含める)。

II 東南アジアにかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(25点)

東南アジアの気候は、赤道に近い地域と赤道から離れた地域とは異なるが、全体としては季節風(モンスーン)の影響を受ける。概ね、5月から10月にかけて、 A (①北西 ②南西 ③北東 ④南東)の季節風が吹き、11月から4月にかけて、 B (①北西 ②南西 ③北東 ④南東)の季節風が吹く。

東南アジアの大部分は年間を通じて雨が多くかつ気温が高いため、稲の栽培に適しており、 ア 稲作農業がおこなわれている。稲作の方法には、田植えをおこなう(a), 湿地田での(b), 焼畑での(c)が挙げられる。また、フィリピン・ルソン島では(d)がみられる。

東南アジアの大半の地域は地震・火山活動が活発な⁽¹⁾新期造山帯に位置しているため、世界の上位ではないが、石油や天然ガスが豊富に産出される。その他の鉱産資源および鉱産資源から得られる金属の主なものとしては、⁽²⁾ニッケル鉱、ボーキサイト、すずがある。

東南アジア諸国連合(ASEAN)諸国は、第二次世界大戦後工業化による経済発展をめざしてきたが、その中でシンガポールは最も早く工業化に成功した。マレーシアは、関税や法人税などの優遇措置を与える イ に外国企業を誘致し、電子・電気産業などを発展させた。タイは日本などの大手自動車メーカーが進出して自動車産業の集積地となっている。東南アジアに進出した自動車メーカーの多くは、⁽³⁾ASEAN域内で部品生産を国際的に分業し、各国の製造工場間で相互に依存しあっている。

東南アジアの都市についていえば、インドネシアのジャカルタ、フィリピンのマニラ、タイのバンコクは、政治・経済・文化などの諸機能が集中し、それぞれの国で人口が第1位であり、2位以下の都市とは大きな格差がある ウ となっている。⁽⁴⁾これらの大都市では、近年の経済発展により住宅や都市施設が郊外へと肥大化し、現在もなお肥大化が続いている。

問1 文中の A および B に入るもっとも適切な語句はどれか。()内の①～④より選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

問2 文中の **ア** ~ **ウ** に入るもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。ただし、**ウ** はカタカナで書きなさい。

問3 文中の (a) ~ (d) に入る稲作の方法の組み合わせとして正しいものを、次の①~④の中から選び記号で解答しなさい。

- ① (a 陸稲栽培 b 直播き c 棚田 d 水田)
- ② (a 水田 b 陸稲栽培 c 直播き d 棚田)
- ③ (a 水田 b 直播き c 陸稲栽培 d 棚田)
- ④ (a 棚田 b 水田 c 陸稲栽培 d 直播き)

問4 下線部(1)にかんして、新期造山帯は2つの造山帯に大別される。その1つはアルプス・ヒマラヤ造山帯であるが、もう1つの造山帯名を答えなさい。

問5 下線部(2)にかんして、以下の1)~2)に答えなさい。

1) 表中の①~③に入るもっとも適切な国名を解答欄に記入しなさい。

2013年生産量順位

順位	ニッケル鉱	ニッケル	ボーキサイト	アルミニウム	すず鉱	すず
1位	①	中国	オーストラリア	中国	中国	中国
2位	②	ロシア	①	ロシア	①	①
3位	ロシア	日本	中国	カナダ	ペルー	③
4位	オーストラリア	オーストラリア	ブラジル	アメリカ合衆国	ボリビア	ペルー
5位	カナダ	カナダ	ギニア	アラブ首長国連邦	ブラジル	タイ

出所)『地理データファイル(2015年版)』より作成。

2) 資源の少ない日本においても、ニッケルなどのレアメタルは、ごみとして大量に廃棄される家電製品や携帯電話などの電子機器を回収・解体して得られる。そのような再利用される廃棄物を一般に何というか、解答欄に記入しなさい。

問 6 下線部(3)にかんして，ASEAN域内で部品生産の国際分業が進んだ理由を，
解答欄に50字以内で説明しなさい（句読点も字数に含める）。

問 7 下線部(4)にかんして，住宅や都市施設が無秩序に郊外に広がっていく現象を何
というか，解答欄に記入しなさい。

III 世界の貿易にかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(25点)

世界の貿易は経済活動の国際化にともない年々拡大している。わたしたちの身のまわりには外国産の製品があふれており、日本の経済は、貿易がなくては成り立たないほど、世界と密接に結びついている。近年では、交通網や通信網の発達により、(ア)とよばれる運輸・情報通信・金融・旅行などの国際取引がますます発展する傾向にある。

世界の貿易額は、1970年ごろから今日までに大きく拡大した。こうした貿易の拡大を促進したのが、貿易の自由化である。第二次世界大戦前では、主要工業国が自国産業を育成するために、輸入品に輸入関税をかけたり、輸出品には輸出奨励金を出したりするなどの(イ)貿易をおこなった。このため世界貿易が縮小するとともに、国家的な対立は激化した。この反省から、戦後には自由貿易を促進するために(A)がつくられ、1995年には(A)の機能をより強化した(B)へ発展した。

自由貿易の下では、それぞれの国・地域が、それぞれ得意とする製品を輸出しあう国際分業体制をつくりあげている。かつて、先進国と発展途上国の間の貿易は、先進国が工業製品を輸出し、発展途上国は食料品や原燃料を輸出する(ウ)分業の関係にあったが、1980年代からは、先進国の多国籍企業が中国やタイなどのアジアに工場を建設したため、アジアの発展途上国でも工業製品の輸出が増加し、それぞれの国・地域が互いに特色ある工業製品を輸出入する(エ)分業の関係に移行しつつある。また、近年では、いくつかの国や地域どうしで関税などを撤廃しあう自由貿易協定などの国際協定が盛んに締結されている。日本では、農業への打撃の心配からこうした動きに消極的であったが、2002年にシンガポールとの間に、単に貿易を自由化するだけでなく人材の交流や経済協力などを含んだ(C)を締結して以降、積極的な姿勢に転じている。また、諸外国・地域も貿易に関する国際協定の締結に積極的であり、1994年にはアメリカ、カナダ、(オ)の3カ国による自由貿易協定である(D)を開始した。

ただし、アフリカ諸国などは依然として食料品や原燃料といった特定の一次産品の生産や輸出に依存する経済体制である(カ)経済であり、先進国と発展途上国の間の貿易格差や、(キ)問題とよばれる中国などの工業化した発展途上国との間

の貿易格差が問題となっている。先進国は（ E ）によって、発展途上国を経済的・技術的に援助している。

問1 文中の（ ア ）～（ キ ）に当てはまるもっとも適切な語句を解答欄に書きなさい。

問2 文中の（ A ）～（ E ）に当てはまるもっとも適切な語句を下記の選択肢の中から選び、その番号を解答欄に書きなさい。

(選択肢)

①EPA	②GATT	③ICPD	④MERCOSUR
⑤NAFTA	⑥ODA	⑦TPP	⑧WTO

問3 次の表は、2012年の主要国の貿易額と貿易依存度について、日本と下記の選択肢の7カ国のいずれかをまとめたものである。（ 1 ）～（ 4 ）に該当するもっとも適切な国を選択肢から選び、その番号を解答欄に書きなさい。

	輸出総額	輸入総額	輸出依存度	輸入依存度
（ 1 ）	1,545,710	2,335,540	9.5	14.4
（ 2 ）	1,408,370	1,164,626	41.1	34.0
日本	798,620	885,609	13.5	14.9
（ 3 ）	408,393	379,723	143.6	133.6
（ 4 ）	296,827	489,689	15.7	25.9

注) 輸出入総額の単位は100万米ドル、輸出入依存度の単位は%。
出所) 総務省統計局『世界の統計 2015』

(選択肢)

①アメリカ	②インド	③サウジアラビア	④シンガポール
⑤ドイツ	⑥ロシア	⑦中国	

問4 次の表は、2013年の日本の主要港別の輸出入について、下記の選択肢の港のいずれかをまとめたものである。港名(あ)～(え)の組合せとしてもっとも適切な選択肢の番号を解答欄に書きなさい。

港名	輸出額 (億円)	主要輸出品目		
		1位	2位	3位
(あ)	110,584	自動車	自動車部品	内燃機関
(い)	78,574	集積回路	科学光学機器	金(非貨幣用)
(う)	54,737	コンピュータ部品	自動車部品	プラスチック
(え)	30,097	集積回路	プラスチック	科学光学機器

港名	輸入額 (億円)	主要輸入品目		
		1位	2位	3位
(い)	109,867	通信機	医薬品	集積回路
(う)	100,392	衣類	コンピュータ	魚介類
(あ)	52,520	液化ガス	石油	衣類
(え)	48,558	衣類	肉類	家庭用電気機器

注) 主要輸出入品目について、各港で金額の多い順に1位、2位、3位とした。
出所) 矢野恒太記念会『日本国勢図会 2014/15年版』

(選択肢)

	(あ)	(い)	(う)	(え)
①	東京	成田国際空港	横浜	千葉
②	東京	大阪	千葉	関西国際空港
③	横浜	大阪	神戸	関西国際空港
④	横浜	東京	名古屋	成田国際空港
⑤	名古屋	成田国際空港	東京	大阪
⑥	名古屋	成田国際空港	千葉	関西国際空港

IV 日本の地体構造，地形や地図およびある地域の地誌にかんする以下の文章や図表を読んで，下記の設問に答えなさい。(25点)

大地形の形成や地殻変動，火山活動などは⁽¹⁾プレートの相対運動によって生じた内の営力が原動力であると考えられる。地球全体でプレートの数は十数枚に過ぎず，異なる4つのプレートの境界に位置する日本列島付近は，世界でも地殻変動や地震・火山活動などが盛んな地域の1つである。は4つのプレートのうちとユーラシアプレートの境にある大陥没帯で，その両側では地質や生態系が大いに異なり日本列島を東北日本弧と西南日本弧に分けている。その西縁は構造線とよばれる大断層線で，その西側には激しく隆起し褶曲により形成された⁽²⁾日本アルプスの山脈が連なる。

その日本アルプスを構成する木曾山脈と飛騨山脈の南部に源を発し，長野県，岐阜県，愛知県を経て，三重県桑名市長島町と木曾岬町の境を伊勢湾に注いでいるのが木曾川である。木曾川の流長^(注1)は227 kmで国内河川第8位，水系の流域面積は9,100 km²におよび第5位の広さとなる日本有数の大河である。

木曾川の第一の特色は，水と木を育てていることである。11,309万キロワットの包蔵水力電力量^(注2)を持つ木曾川は，わが国の河川の中でもっとも⁽³⁾水資源に恵まれている。⁽⁴⁾木曾谷の美林に代表される森林は，⁽⁵⁾林業における用材の単なる供給のみでなく水源涵養林^(注3)としても重要な役割を果たしている。

木曾川の第二の特色は，⁽⁶⁾上流と下流の河相^(注4)がきわめて対照的なことである。木曾川は上流部の長野県内では木曾谷を中山道の木曾路と並行し寄り添うように蛇行しながら流れ下り，河相は川の流れによって浸食された河谷を形成している。最上流から93 kmほど下ったあたりで岐阜県中津川市に入るときにはすでに標高は310 mまで下がっているが，なお峡谷や溪谷が形成されている。さらに22 kmほど下流に位置する恵那峡では標高が260 mまで下がり，見事な溪谷の景観を見ることができるところがさらに50 km下った「日本ライン」の終点犬山市付近での河相は大きく変わっている。このあたりの標高は30 mほどで，木曾川は悠々と流れる大河の様相である。その流れを西から南に大きく変える羽島郡笠松町付近（河口から42 km）では標高15 m程度になり，長良川，揖斐川の両川とともに，濃尾平野の広大な沖積

平野を形成している。3つの川が集まるそのエリアは、⁽⁷⁾輪中地帯として全国的に知られ標高が低いところである。やがて木曾川は伊勢湾に注ぎその旅路を終えるが、その河口には大きなデルタが広がっている。

(注1) 幹川流路延長ともいい、河口から水源までの流路の長さをいう。

(注2) 技術的・経済的に利用可能な水力エネルギー量のこと。

(注3) 雨水を吸収して水源を保ち、併せて河川の流量を調節するための森林。

(注4) 川の姿のこと。

問1 文中の(ア)～(ウ)に入るもっとも適切な語句を記入しなさい。

問2 下線部(1)にかんして、地球表層の岩石圏はいくつものプレートに分かれ、下部の層の対流によってほとんど変形することなく水平に移動しているとする考えに基づく理論のことを何というか、所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部(2)にかんして、飛騨山脈、木曾山脈とともに日本アルプスを構成するもう1つの山脈の名前を所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(3)にかんして、水資源に恵まれている木曾川は、河況係数(=最大流量÷最小流量)が870と大きい(ライン川は16、淀川は86)が、河況係数が大きい河川ではある災害が起こりやすい。その災害は河況係数を小さくすることで対処することができる。その災害と、河況係数を小さくするための対策を40字以内の文章で書きなさい(句読点も字数に含める)。

問5 下線部(4)にかんして、日本の三大美木の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑥の中から選び、その番号を所定の欄に記入しなさい。

- ① 木曾のあすなろ 青森のヒノキ 秋田のスギ
- ② 木曾のスギ 青森のヒバ 吉野のヒノキ
- ③ 木曾のヒノキ 青森のヒバ 吉野の桜
- ④ 木曾のヒバ 秋田のヒノキ 屋久のスギ
- ⑤ 木曾のスギ 屋久のスギ 吉野のスギ
- ⑥ 木曾のヒノキ 青森のヒバ 秋田のスギ

問6 下線部(5)にかんして、下の表1は世界の原木の生産量・その用途、針葉樹・広葉樹の別が、表2は日本の木材輸入国・輸入量が示されている。表中のA国、B国にもっともふさわしい国名を所定の欄に記入しなさい。

表1 原木の生産

国名	原木の生産量 (百万 m ³)			用途		樹種	
	1990年	2013年	割合(%)	用材(%)	薪炭材(%)	針葉樹(%)	広葉樹(%)
世界	3,536	3,591	100	48.4	51.6	31.8	68.2
インド	311	357	9.9	13.9	86.1	4.3	95.7
中国	377	346	9.6	48.3	51.7	29.1	70.9
A国	509	334	9.3	87.9	12.1	62.4	37.6
ブラジル	195	269	7.5	55.5	44.5	17.1	82.9
ロシア	386※	194	5.4	92.8	7.2	66.7	33.3
B国	162	148	4.1	99.0	1.0	82.2	17.8
インドネシア	164	115	3.2	54.3	45.7	0.2	99.8

注) ※ロシアの1990年のデータは旧ソ連の統計
出所) 帝国書院『地理データファイル2015年度版』より一部改変

表2 日本の木材※の輸入 (2013年)

国名	金額(億円)	割合(%)
総計	4,592	100
B国	1,221	26.6
A国	832	18.1
ロシア	492	10.7
フィンランド	356	7.7
スウェーデン	310	6.8
中国	280	6.1

注) ※木材は丸太・製材の合計
出所) 帝国書院『地理データファイル2015年度版』より一部改変

問7 下線部(6)にかんして、表3は木曾川流域の6カ所の地点について、河口からの距離とその標高を示したものである。この表のデータと本問題のリード文の太字で記されている場所のデータをよく読み、木曾川の特徴がわかるように勾配グラフ(縦断面曲線)を作成しなさい。

表3 木曾川流域の各地点の河口からの距離とその標高

地点	1	2	3	4	5	6
河口からの距離 (km)	8	18	29	34	134	227
標高 (m)	0	0	1	3	310	1650

注) 河口からの距離、標高は小数点以下を四捨五入している。

問 8 下線部(7)にかんして、輪中地帯の特徴について書かれた以下の①～④の文章のうち誤っているものを1つ選びその番号を所定の欄に記入しなさい。

- ① 輪中集落は水害を受けやすいという悪条件を克服しようとして成立した。
- ② 輪中では洪水を防ぐために周囲に堤防を巡らせ、その堤防の上に住居を建てた。
- ③ 輪中集落の住居には、母屋よりも一段高い水屋を持つものもある。
- ④ 輪中の中では一部の農地を掘り返し、その土で他の農地をかき上げし高い位置にするとところがある。

問 9 同じく下線部(7)にかんして、以下の写真のA～Dの中から輪中地帯の構築物としてもっとも適切なものを1つ選び、所定の欄に記入しなさい。

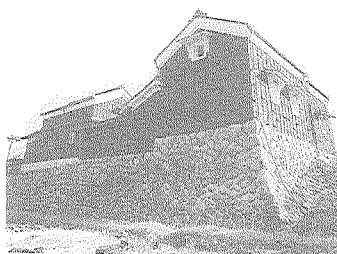
A



B



C



D

